

2026年2月24日  
南海電気鉄道株式会社  
株式会社JR西日本テクシア

～駅ホームの安全性をさらに強化～  
**3月24日（火）から新今宮駅1番線ホームにて  
「転落検知システム」の運用を開始します**

南海電気鉄道株式会社（社長：岡嶋 信行）と株式会社JR西日本テクシア（社長：有田 泰弘）は、駅ホームにおける安全性向上の取り組みとして、転落検知システムの現地検証を2025年7月1日から2026年1月30日まで実施してまいりました。

このたび、検知性能をはじめとする各種機能について良好な結果が得られたことから、同システムの本格運用を開始することといたしました。今後も駅ホームの安全性向上を図るため、必要とされるホームへの同システムの設置を順次拡大してまいります。

また、転落検知システムと同時期に検証を開始したホーム端接近警報システムにつきましては、有効性の確認と検証を進め2026年度内の運用開始に向けて引き続き取り組んでまいります。

詳細は以下のとおりです。

1. 導入箇所 高野線 新今宮駅 1番線ホーム（駅の所在地：大阪市西成区萩之茶屋一丁目2番24号）

2. 運用開始日 2026年3月24日（火）

3. システム概要・特徴

転落検知システムは、駅ホーム上に設置した2Dセンサにより、ホーム端と線路の境界部にスクリーン状の検知エリアを形成し、これを遮る人や大きな荷物などの転落を自動的に検知して、接近する列車および駅係員に異常を通知する仕組みです。従来からの設備として、駅ホームには非常通報装置（非常通報ボタン）が設置されており、転落者などの異常に気づいた駅利用者や駅係員が非常通報ボタンを押下することで列車等へ異常を通知する仕組みとなっています。

これに加え、転落検知システムでは転落した人などを自動的に検知し、人による操作を介さず即時に列車等へ異常を通知することが可能となります。これにより、異常発生時の通知までの時間が大幅に短縮され、駅ホームにおける安全性の向上が図れます。また、異常発生時に周囲に人がいない状況でも自動で検知・通知できる点も転落検知システムの大きな特徴の一つです。

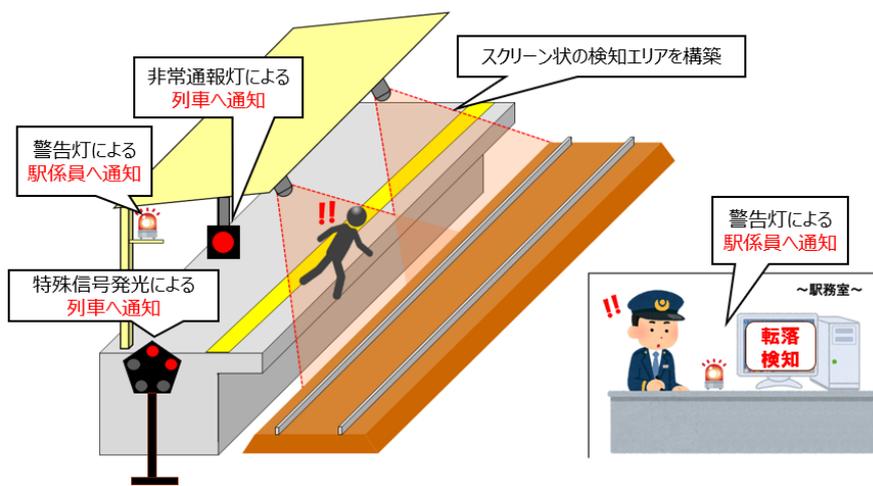


図1 転落発生時の通知(イメージ)



写真1 検知エリア (イメージ)

【ご参考】現地検証開始のニュースリリース

<https://www.nankai.co.jp/news/250624.html>

以上